

講演会報告

2021 年第 68 回応用物理学会春季学術講演会

講演会企画・運営委員長 一木 隆範 (東京大学)

春季学術講演会が、2021 年 3 月 16 日(火)から 19 日(金)までの 4 日間、オンラインにて開催されました。

今回の総参加者数は 8279 名となりました。非常に多くの方にご参加いただいた前回秋季学術講演会と比較すると 551 名少ないのですが、要因は無料聴講者の学生が少なかったことによります。また、今回も一般公開のシンポジウムのみに登録した参加者が 498 名と多数おられました。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

講演件数は、26 のシンポジウム、14 の大分類と 3 つの合同セッションならびにフォーカストセッションの合計で 3074 件となり、前回(上智大学)と比べ 586 件減少しましたが、昨年の秋季学術講演会より 640 件増加しました。講演の内訳は、一般講演 2827 件、招待講演 247 件となり、大分類別の講演件数割合は図 1 をご参照ください。また、昨年秋には実施できなかったポスター講演を実施し、活発な議論がされました。

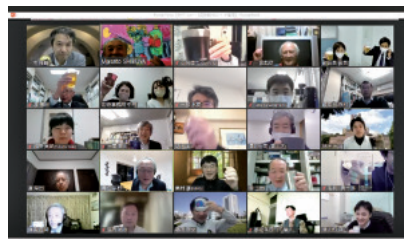
登壇者の所属を基に投稿機能数を分類すると、大学関係 84.3%、企業 7.0%、研究機関 7.6%、そのほか 1.1% となり、登壇者割合は前回春(上智大)と同程度でした。

今講演会のシンポジウムは、学会 HP 掲載の WEB コラム「新型コロナウイルス禍に学ぶ応用物理学会」と連動した一般公開シンポジウムのほか、non-technical 2 件、technical が 23 件企画され、いずれも現在ホットな話題や重要になりつつある話題を取り上げ、盛り上がりを見せておりました。

特に、「量子コンピュータの現状と展望」、「パワーデバイスの最新動向と今後の展望」、「先進モビリティとパワーエレクトロニクス技術の進化」の 3 件は、600 名を超える聴講者を集め、非常に注目度の高いシンポジウムでした。また、オンライン開催のメリットを生かし、

20 件のシンポジウムを録画して後日参加者向けに公開しました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

今講演会も例年同様、口頭講演のほかに、基礎から応用までを短時間で学べるチュートリアルを 6 件実施しました。また、チュートリアルもシンポジウムと同様に見逃し配信を行ったところ、多くの聴講申し込みがありました。



懇親会冒頭の乾杯の様子。

講演会初日の夕方から開催した懇親会(Zoom)には 111 名が参加しました。参加者全員による乾杯に続き行われたビンゴ大会は大いに盛り上がりを見せ、その後 Zoom のブレイクアウトルームに移動して遅くまで懇親を深めた方も多くいらっしゃいました。

昨年は実施できませんでしたが、今回は 17 回めとなる“Poster Award”を実施し、選考対象のポスターを慎重に審査した結果、14 件を Poster Award として選定し、参加者ポータルサイトに受賞ポスターを掲示いたしました。皆さんご覧いただけましたでしょうか。ご協力いただきました方々には大変感謝しますとともに、次回もご協力くださいますようお願いいたします。

また、「第 17 回 JSAP フォト&イラストコンテスト」をオンラインにて実施しました。この企画では、講演会参加者の投票により、最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品が選ばれました。受賞作品は HP に掲載しておりますのでご覧ください。秋季講演会でも実施しますので皆様のご応募お待ちしております。

今回のオンライン開催は大会本部を

学会事務局に置き、東京大学の実行委員会と上智大学のご協力とアルバイトの学生さんたちのご活躍のおかげをもちまして、全ての行事を滞りなく進めることができました。実行委員長の田畑仁先生をはじめ、実行委員会の諸先生には深く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

2021 年 9 月 10 日(金)から開催する秋季学術講演会は、名城大学天白キャンパスとオンラインによるハイブリッド開催を予定しています。開催情報は大会 HP に適宜掲載しますので常に確認するようお願いします。

皆様の登壇(登壇締め切り日 6 月 22 日(火))および参加をお待ちしております。

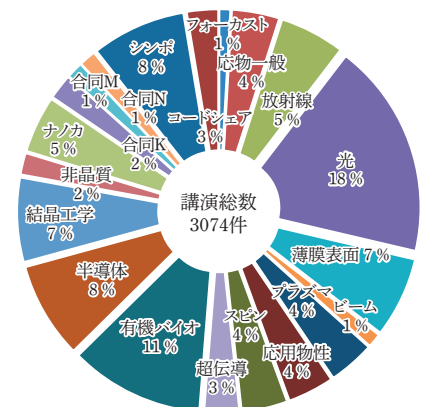


図 1 第 68 回応用物理学会春季学術講演会分科別講演件数割合。各大分類の値には若干の誤差があります。



当日の講演会運営の様子(応用物理学会事務局会議室)。